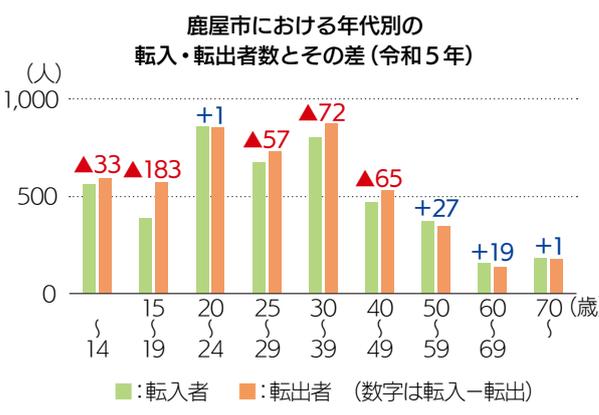




本市における転入元・転出先の地域別割合 (令和5年)

地域	転入 (市外→鹿屋)	転出 (鹿屋→市外)
北海道・東北	1.6%	1.5%
関東	10.3%	12.3%
中部	3.7%	3.3%
近畿	4.4%	4.9%
中国	3.4%	3.3%
四国	1.3%	1.1%
九州 (鹿児島県を除く)	20.9%	23.0%
鹿児島県内	48.4%	47.4%
国外	6.1%	3.2%



春は別れと出会いの季節。年度末・初めには多くの人が異動します。社会動態である転入者数と転出者の差をみると、本市では令和5年の転入者4,459人と390人に対して転出者4,849人と390人転出者が多く、平成23年以降転出者数が転入者数を上回っている状態です。これ

Voice

鹿屋市ってどこからの転入・転出者が多いの?

を年代別にみると、15〜19歳の転出超過が顕著。また、18歳と22歳で転出する人が多く、これは高校や大学卒業後の進学・就職等に伴う異動によるものと思われます。では、異動者はどこから来てどこに出ていくのか。鹿屋では県内の他市町村から転入する人が一番多く、約半数を占めています。続いて20%ほどが九州管内から、10%が関東からの転入者です。転出においても同様の傾向となっており、県内への転出者が約半数、次いで九州が23%、関東地方へ12%の人たちが転出していきます。なお、この割合や順位については、毎年ほぼ同じ状況です。このような社会動態に加え、少子高齢化による自然減も人口減少の大きな要因となっていることから、令和5年3月策定の「鹿屋市人口減少対策ビジョン」に基づき、様々な人口減少対策に取り組んでいきます。

異動理由ランキング

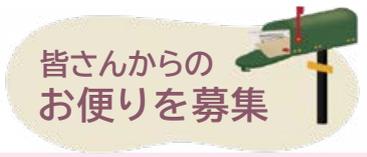
令和5年中の転入・転出者へのアンケート調査で一番多かった異動理由は「転勤」。本市は自衛隊の存在や大隅の中心として支社や営業所が多いことが要因と推測されます。

転入	転出
・転勤 (42.3%)	・転勤 (39.9%)
・Uターン (18.2%)	・就職 (31.1%)
・転居 (13.9%)	・進学 (6.1%)

お手数ですが
63円切手を
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD



鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや
KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

ご住所 □□□-□□□□

歳 男・女
プレゼント 要・不要

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております!

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合があります。

〒893-8501
鹿屋市共栄町 20-1
政策推進課
「読者のひろば」係
☎0994-31-1123